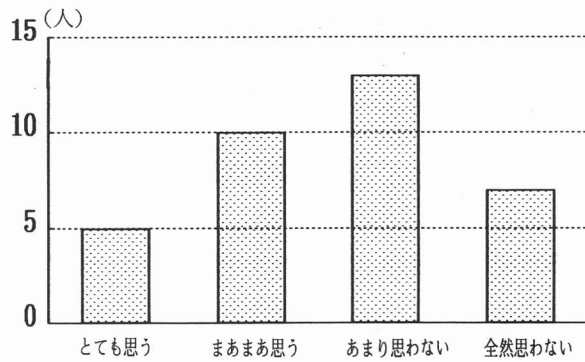


【図3】 クラスの友達との感情の交流



クラスの友達との感情の交流ができたかについて「あまり思わない・全然思わない」と回答している生徒は、クラスの半数以上の20人である【図3】。普段の学校生活で、互いに気持ちを受け止め合う機会や場が少ないためと考えられる。

(1)~(3)の実態から、感情の交流を深める保健体育の授業の実施上の留意点として次の事が考えられる。

- 感情の交流を深め、互いの気持ちを受け止め合う機会や場が効率的に機能するように、こころを柔軟にするウォーミングアップを十分に取り入れること。
- 自分の気持ちをクラスの友達や先生にわかってもらえたと感じられる機会や場を、学習活動の中に意図的に取り入れること。
- 安心して学習できるように、生徒一人一人を肯定的に受け止め、自信を持たせる教師のかかわりを取り入れること。

2 指導援助の実際

(1) 指導計画

- 単元名ーバスケットボール (総時数17時間)
- ねらいーバスケットボールに意欲的に取り組み、より質の高いゲームの楽しさを味わう。

段階	ねらいと学習活動
	○オリエンテーション

はじめ (1)	<ul style="list-style-type: none"> ・ グループینگ ・ 学習の見通し ・ 役割分担
なか① (10)	<p>【ねらい1】</p> <p>どの生徒も、よりバスケットボールの楽しさを味わえるように個人やチームの課題を解決しながらゲームを楽しむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ゲーム→チーム練習→ゲーム ○ 個人のめあて別練習
なか② (5)	<p>【ねらい2】</p> <p>いろいろなチームを編成し、それに応じたルールを決めてゲームを楽しむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 力の均等なチーム ○ 一緒にプレイしてみたい者同士のチーム
まとめ (1)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元全体を通しての振り返り

(2) 実践の様子 (抽出生徒A男を中心に)

抽出生徒A男の様子を中心に、感情の交流がどのように深められたのかを述べる。

① A男について

【担任】

自分の思いを行動として表現することはほとんどない。クラスの中でも目立たない存在で、友達の輪の中になかなか入れずにいる。

【アンケート結果 (事前)】

クラスの雰囲気	ー無回答
みんなと一緒にいると楽しい	ーあまり思わない
みんなと一緒にいると安心	ーあまり思わない
感情を味わえる	ーまあまあ思う